

緑のボランティア通信

2011.6.25

No.14

「第7回わがまち花と緑のコンクール」

入賞作品が決まりました!

7回目を迎えたコンクールには、89件の応募がありました。勢ぞろいした作品の現地調査を行い、厳正な選考の結果、次の通り入賞作品が決定しました。今回は、3月11日の東日本大震災やその後の計画停電、天候の不順等により若干元気のなかった花たちでしたが、「こんな時こそ身近な花や緑に励まされた。」「一緒に活動する仲間が頼もしく思えた。」との声も聞かれ、4月になると続々と作品が届きました。

一般公募による9名の市民からなる「運営委員会」により6月25日中原市民館で表彰式が行われます。

団体の部

●大賞●



さいわい花クラブ実行委員会
(大師堀花壇)

●イキイキママ賞●



太陽第一幼稚園 "ガーデニングママ"

●奨励賞●



宮崎フローラクラブ

●オープンデザイン賞●



土橋園芸クラブ
(東名IC周辺花壇)

個人の部

●大賞●



林部 弘子

●オープンコミュニティ賞●



有賀 春子

続く▶



目次

「わがまち花と緑のコンクール」入賞作品決まる	1,2
協会ニュース	2
活動団体訪問・自己紹介コーナー	3
ツリー・ウォッチング	4

● 連続努力賞 ●



日光さわやかクリーン会



中原ベランダ園芸研究会



近藤 栄

✿ コンクール Q&A ✿

… 来年の応募準備の参考にしてください

Q コンクールの審査基準を教えてください。

A 公開性、コミュニティ、維持管理・継続性、デザイン、創意工夫・特色の5項目で審査をします。

Q 応募にはどんな写真を添付すれば良いですか？

A 花壇等の全体写真。活動の様子がわかるもの。季節の写真2枚の計4枚です。四季を通じた花壇が評価されるので秋の写真もぜひ。

Q 運営委員にはどうやったらなれるのですか？

A 表彰式等で一般公募し、区や男女のバランスに配慮して決定しています。花や緑に関心のある方、次年度委員希望の方はお問い合わせください。

協会ニュース

実施報告

◆里山ボランティア育成講座開始

今年度の里山講座は、定員いっぱいの24人でスタートしました。第1回は5月21日(土)等々力緑地にある、川崎市公園緑地協会の2階会議室において「川崎市緑の基本計画」の学習、「ボランティアの心得」の講義の後、午後からはふるさとの森において直径30センチのマテバシイの伐採を体験し、道具の使い方や手入れの仕方を実践しました。来年1月まで全6回、市内各地の緑地を活用し、基礎からじっくり学びます。



◆さとやま研修会① 低木の刈込

活動を始めているが学びたいことがある方、作業体験を積み重ね腕を磨きたい方、日ごる忙しい方向けに、里山ボランティア育成講座の補講として、1回ごとに参加できる研修会を企画しました。第1回は、5月29日(日)。等々力緑地において、親子での参加や町会等地域で活動する方等幅広い参加者を得て実施しました。公開緑地を市民と共同で管理している佐藤進先生を講師に迎え、すぐに役立つ低木の刈込を学習。雨天のため実技は31日に延期しましたが、手入れの行き届いたツツジの刈込が背景として花壇の花を引き立てています。

◆こども黄緑クラブ 春編

6月12日(日)川崎市緑化センターにてテレビでもおなじみの佐々木洋さんを講師に「若葉青葉の虫探し」と題し観察会を行いました。当日は、抽選で選ばれた小学3年生から中学1年生の18人が参加。シロテントウやクロスジギンヤンマ、カメムシやニホンカナヘビ等、次々とたくさんの虫を発見。講師の楽しい解説に引き込まれました。後半はグループごとに「ビンゴカード」を使って散策。この経験を通し、川崎の自然を守り育てる子どもたちが増えることを望みます。



参加者募集!

◆こども黄緑クラブ 夏編「樹液に集まる虫たち」

日時：8月21日(日) 会場：川崎市緑化センター 対象：小学3年生～中学生25人 参加費：無料
申込方法：往復はがきに〒・住所・名前・電話番号・学校名・学年・保護者名を明記し、公園緑地協会内「こども黄緑クラブ夏」係まで8月1日メ切で送付ください。

◆花と緑のまちづくり講座(緑化推進リーダー育成講座)

私の住むまちを「花と緑のまちづくり」で推進したいと考えている方が対象です。地域の緑化活動の核となる人材育成を目指します。8月から24年1月までの全6回。原則6回出席のできる30名を募集します。詳細は次号で大募集します。

水沢森人の会 (2001年設立)

活動場所 菅生緑地・宮前区市民健康の森(宮前区水沢2-2)
交通案内 小田急線 向ヶ丘遊園駅より 小田急バス
あざみ野行「美しが丘3丁目」下車徒歩3分

2001年、市内各区に「市民健康の森」が設立されました。行政と市民ボランティアが一体となって森をつくろうというプロジェクトです。森の全くない川崎市から今も里山が残る麻生区まで、環境はそれぞれ違いますが市民は雑木林、竹林を間伐したり、小中学生の野外学習を指導したり、創意に満ちた活動を続けてきました。これまでの都市緑化の活動の中に新しいページをつくったのではないかと思います。川崎市は昨年、都市緑化基金の総理大臣賞をもらいましたが、市民との協働の成功が評価されたと聞いています。

私たちの会も宮前区の健康の森パートナーとして発足し、もう10年がたちました。他の区に比べての特徴は、市が用地取得を継続し、面積が当初の2.1haから約5haにまで拡大、毎年市と私たちがいっしょになって里山復活をめざした設計をしてきたことです。雑木林や竹林、

柿、栗、梅の果樹園や畑をそのまま残し、手入れや作業に汗をかいています。春は野の草花がきれいで、こんな里山の自然はもう他では見られないかも知れません。都市の真ん中なのにまるで田舎の空間に迷い込んだようだと言ったビジターたちにも大変好評です。

森人の会は現在会員90名、常時20名余のメンバーが活動をしています。学区の稗原小の生徒たちとはジャガイモなどの植付けから収穫までの農業体験、毎月の「花ごよみ」調査に加え、今年は専門家を招いて昆虫調査も実施します。冊子「水沢の森花ごよみ」ご希望の方は協会にご連絡ください。(水野 憲一)



宮崎フローラクラブ (2005年設立)

活動場所 宮崎第4公園(宮前区宮崎6-2-3)
交通案内 東急田園都市線 宮崎台駅より 東急バス
宮前平駅行「宮崎第四公園入口」下車徒歩3分

わが「宮崎第4公園」は宮前区役所に程近く、2万㎡の面積を有し、北側にクヌギやコナラの里山を背に、メインの南側平地には、西にグラウンド、東は滑り台、ブランコなどの遊具が桜や楠などの樹間に点在しています。ロケーションに恵まれていましたが、格好の散策、憩いの場と呼ぶには、花木も少なく、いささか物足りなかったのです。

2004年、市主催の“花と緑のまちづくり”講座を契機に、有志による花壇づくりが始まり、2005年4月、宮崎フローラクラブが誕生しました。初めはささやかな花壇数ヶ所でしたが、それでも通りがかりの方々に喜ばれ、賛助会員が誕生し、2011年5月現在、活動会員23名、賛助会員92名を有するまでになりました。

現在は、花壇も一年草用15ヶ所、多年草用6ヶ所、低花木用10ヶ所と増え、春秋二回一年草用花壇の植え替え時、花苗購入と同時に園芸バザーも開催しています。毎回、バザーはご近所同士の会話も弾み、交流の場にもなってきました。更に、広大な園内の落ち葉を集めて腐葉土を作り、花壇の土壌活性化、園内清掃、環境エコと一石三鳥の働きをしています。

年末年初の冬休み期間には、落ち葉プールを作り、ちびっこたちへ遊び場の提供もしています。そのほか、公園整備、トイレ及び周辺美化、空き地の草刈り、等々と活動の場は広がり続けています。(今井 正孝)



シリーズ!! ツリー・ウォッチング



*あなたもツリー・ウォッチングに出かけてみませんか?
川崎市内の銘木・珍木・不思議な樹々たちの世界を紹介します。



No.1

ヤマトタチバナとタチバナ

現在の中原区から高津区の辺りは、昔は『橘郡』と呼ばれていました。その由来は日本神話に出てくる“弟橘媛”を祀った橘樹神社にあるそうです。

江戸時代に盛んに栽培されたタチバナも現在では他の柑橘類に押されて殆ど栽培されなくなりました。川崎市内では、橘樹神社や高津高校内で観察できます。

高津高校では、タチバナと共に紀伊半島の野生原種であるヤマトタチバナも観察できます。

橘樹神社

住 所 高津区子母口 122
交通案内 南武線「武蔵新城駅」より 市営バス 井田病院行 等
「子母口」下車 徒歩5分

高津高校

住 所 高津区久本 3-11-1
交通案内 南武線・田園都市線「溝の口駅」より 徒歩7分



No.2

ゼンジマルガキ（禅寺丸柿）

その昔、柿は渋いモノというのが常識だったそうです。そんな中、日本初の甘柿の原種となったのが、この“禅寺丸柿”だといえます。

江戸時代より、川崎は様々な果樹の栽培が盛んで、地域の生活を支えてきました。

この“禅寺丸柿”は、近年までは新しい品種に押されて姿を消すところでしたが、近隣農家の方々の努力によって見事に復活。現在では地域興しの目玉としても、大切に栽培されているそうです。禅寺丸柿の原木は、王禅寺の本道前の庭に保存されています。

王 禅 寺

住 所 麻生区王禅寺 940
交通案内 小田急線「柿生駅」より 東急バス あざみ野行 等
「王禅寺東3丁目」下車 徒歩3分



*このコーナーでは、川崎市内の銘木・珍木・希少木の情報を募集します。あなたのご近所の“地名の由来にもなった銘木”や“巨樹”、“珍しい花が咲く木”“変わった風景の木”、“調べてほしい不思議な木”などの情報をお寄せください。取材して、このコーナーで紹介します。

発行・編集

(財)川崎市公園緑地協会 緑の活動支援課

〒211-0052 川崎市中原区等々力3-12
電話 044(711)6631 FAX 044(744)8410